

科目名	哲学概論 An Outline of Philosophy						
科目担当者	中本 幹生 NAKAMOTO Mikio						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科 [専門教育科目 自由科目] 経営学部・経営学科 [専門教育科目 自由科目]					ディプロマポリシーとの関連	(4)(6)
授業の概要	この授業では、様々な具体的かつ身近なテーマを取り上げ、それぞれについて哲学的な観点から考察を行ってゆきます。取り上げるテーマは、自然、文化、自己、幸福、人間と自然の関係などです。これらについて哲学的な概念を用いつつ多角的に分析し、かつ根源的な次元から考え直すことを通して、受講者が哲学的な知識を得るとともに、新たな視野を獲得し、かつ物事を自らの力で根本的に考えることを目指します。これにより、受講者は哲学的に思考する力を養うことができるようになります。						
授業の到達目標	①物事を根源的な次元から問い直し、考えることができる。 ②物事を多くの異なる視点から柔軟に考えることができる。 ③哲学の基本的な概念を理解することができる。 ④現代社会の諸問題について、より包括的な視点から考えることができる。 ⑤自分自身の生き方について、深く吟味することができる。						
授業計画・内容	1	導入：哲学とは何か					
	2	自然と文化（1）：世界の多様な自然と文化					
	3	自然と文化（2）：世界の多様な自然と思想					
	4	自然と文化（3）：日本の自然と文化					
	5	自分とは？（1）：自己の概念					
	6	自分とは？（2）：自己の存在					
	7	自分とは？（3）：自己の文化差					
	8	幸福とは？（1）：幸福概念の多義性					
	9	幸福とは？（2）：快としての幸福					
	10	幸福とは？（3）：力の発揮としての幸福					
	11	幸福とは？（4）：私の力を超えた幸福					
	12	人間と自然の関係（1）：人間と自然の関係はどうあるべきか？					
	13	人間と自然の関係（2）：近代以前の自然観					
	14	人間と自然の関係（3）：人間による自然支配					
	15	人間と自然の関係（4）：人間と自然のとの共生へ向けて					
授業外学修 (事前学修)	毎回、授業範囲を予習し、専門用語の意味等をあらかじめ調べておくこと（毎週2時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	毎回、授業内容について要点を整理し、不明な箇所を調べておくこと（毎週2時間程度）						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	定期試験					100%	①、②、③、④、⑤
成績評価基準	秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	なし						
参考文献	授業中に適宜指示する						
その他	・映像資料も適宜使用する予定です。						